



**ストップ！
消費税**

**9月議会報告
その1**

施設老朽、園児満杯、職員不足の ひまわり学園の改善を

ひまわり学園の園児が350人となり、年々増えています。施設も老朽化しスペースにも限界がありますが、何よりも良質な療育を提供するには18人のスタッフでは少なすぎます。その他にひまわり学園の職員は、乳幼児健診に参加し、保育園などの障がい児の巡回相談を行う等、様々な役割を担っており、人的にも施設のにも不十分と言わざるを得ません。9月議会一般質問で取り上げました。
市議会議員 笹田トヨ子

健診での早期発見と 早期対応が大切

障がい児の早期発見の役割を担っている1歳半健診では、「要観察」の子どもが年々増えています。保健センターでは事後対応として、訪問や電話による様子観察を行い、「遊びの教室」を開催して、療育の必要な児に対して「ひまわり学園」を勧めています。しかし、保育園等に就園するまでの、3才未満の段階の対応は不十分で、早期対応にはなっていません。

先進都市大津市の 障害乳幼児・発達支援施策

滋賀県大津市の障害乳幼児・発達支援施策は1歳半健診で発見された障害乳幼児や子育て支援を必要とする児に対して、3歳就園前の段階で対応するシステムができています。

その特徴の一つは、小集団の親子教室（大垣市では遊びの教室）と個別の発達相談で、療育の必要な児はできるだけ早い段階で障害児療育施設に繋いでいます。

2つには、知的に大きな遅れが無くても、将来発達障害になる可能性のある児等に対して「発達支援療育」として障がい児施策ではなく、子育て支援策の枠組みで行っています。

大垣市は、「発達相談」や「発達支援療育」といった事業はできていません。

9月議会での質問と答弁

一般質問では以下の点について質問しました。

- ・ひまわり学園の現状をどうとらえているか？
- ・ひまわり学園と保育園等において、障がい児療育の役割分担をはいかがでしょうか。
- ・ひまわり学園は「児童発達支援事業」の位置づけだが、「児童発達支援センター」としてこの地域の中核的な療育支援施設にはいかがか。
- ・施設の建て替えに際し、ひまわり学園のあり方について、学識経験者等を含め検討委員会を設置してはいかがでしょうか。
- ・ひまわり学園の運営について、指定管理者制度から直営に戻すことを提案。

・大津市のように、未就園児の発達支援を必要とする子どもに対する受け皿を作ってはいかがか。

建物の改築は検討中、児童発達支援センターは研究すると答弁

答弁要旨：1歳半健診・3歳児健診で早期療育を必要と判断した場合は、ひまわり学園の通所を促している。ひまわり学園の指導員を保育園に招き、保育者への療育指導を実施している。モデル保育園にて少人数保育の取り組みを進めている。建物は、改築を検討しており、児童発達支援センターへの移行や検討委員会の設置については研究する。直営化については研究する。健診から療育のつなぎについては、「遊びの教室」を2クラスを増設して、充実を図ったところである。

**大垣市の療育システムをよりよいものにするため頑張ります。
ご意見お寄せください。**

私は、ひまわり学園の置かれている現状をどのようにとらえているのか、また健診から療育へのつなぎとして、現状でよいとみているのか、市としての見解を求めたのですが、はっきりした見解は得られませんでした。

ただ、先進都市の実践を研究したいという答弁があり、大垣市の療育システムをよりよいものになるよう期待したいと思います。